

令和7年度 川崎市薬剤師認知症対応力向上研修 理解度確認テスト 解答

第1問 認知症の種類の中で有病率が最も高いものはどれか。

- A. レビー小体型認知症 B. 血管性認知症 C. 前頭側頭型認知症 **④. アルツハイマー型認知症**
-

第2問 アルツハイマー型認知症の中核症状として最も多いものはどれか。

- A. 幻視 **②. 近時記憶障害** C. 片麻痺 D. 急激な意識障害
-

第3問 抗アミロイド抗体薬の導入を検討する際、早期紹介の目安として資料で示されていた MMSE の点数はどれか。

- A. 10 点以上 B. 15 点以上 **③. 22 点以上** D. 30 点以上
-

第4問 MCI（軽度認知障害）の説明として正しいものはどれか。

- A. 必ず認知症に進行する B. 健常に戻ることはない **③. 健常に戻る場合もある** D. 重度認知症と同じ状態である
-

第5問 認知症基本法の重要キーワードに含まれるものはどれか。

- A. 競争 **②. 共生** C. 監視 D. 管理
-

第6問 「パーソン・センタード・ケア」の考え方として正しいものはどれか。

- A. 病気を中心に考える B. 問題行動を抑える事を優先する **③. その人の強みや感情に注目する** D. 家族の意見のみを優先する
-

第7問 川崎市の高齢者・認知症の現状について正しいものはどれか。

- A. 高齢者の約 10 人に 1 人が認知症である。
②. 令和 7 年には 7 万人を超え、高齢者の約 5 人に 1 人が認知症であると推計されている。
C. ひとり暮らしの高齢者は少なく、ほとんどが家族と同居している。
D. 85 歳以上の女性の認知症有病率は 90%に達する。
-

第8問 認知症について正しく理解し、当事者や家族を温かく見守る「応援者」のことを何と呼ぶか。

- ①. 認知症サポーター** B. 認知症ドクター C. 認知症マネジャー D. 認知症コンサルタント
-

第9問 薬剤師が薬局の窓口で虐待のサインに気づいた場合、とるべき正しい行動はどれか。

- A. 確実な証拠が見つかるまで、誰にも言わずに様子を見る。
②. 虐待の可能性（疑い・発見）の段階で、速やかに市区町村や地域包括支援センターへ連絡する。
C. 薬剤師には通報する義務はないので、何もしない。
D. 本人に直接、「虐待されていますか?」と問い詰める。

解答

1 : D

2 : B

3 : C

4 : C

5 : B

6 : C

7 : B

8 : A

9 : B